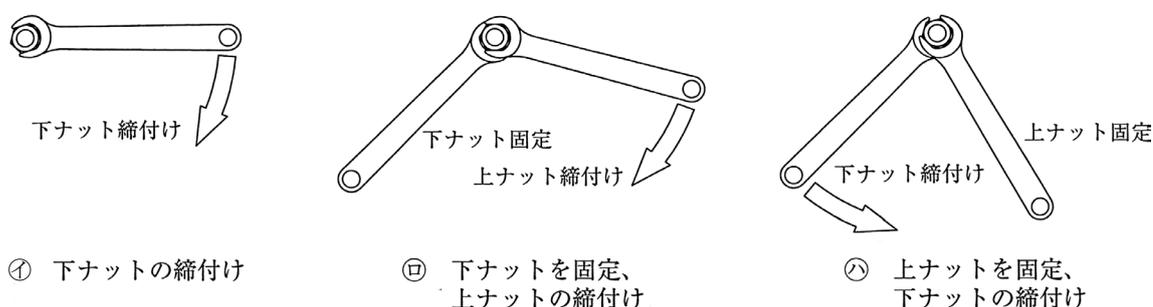


鉄骨工事 Q&A	アンカーボルト	二重ナットの締付け	制定	2023年2月1日
			改訂	

Q. アンカーボルトの二重ナットの締付け方法について、建築工事監理指針で示されている普通ボルトの締付け方法を適用すべきではないでしょうか？

A.

建築工事監理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)では、普通ボルト接合の場合のボルトが緩まない処置として、二重ナットを使用する場合の締付け手順が示されています(下図)。手順は、下ナットを締め付けた後、このナットをスパナで押さえたまま上ナットを別のスパナで締め付け、最後に上ナットを固定して下ナットを上ナットに対して締め付ける方法です。また、機械分野で使用されるアンカーボルトの二重ナットの締付け方も同様な方法で行われています。



二重ナットの締付け

一方、建築鉄骨柱柱脚部に用いられる在来工法の柱脚で構造用アンカーボルトの場合の二重ナットの締付け方は、**建築構造用アンカーボルトを用いた露出柱脚設計施工指針・同解説**において以下のように示されています。

- ① 下ナットの1次締付け(トルクレンチにより目標トルクを締める)
- ② マーキング
- ③ 下ナットの本締め(10~30° 回転させる。径によって小さくできる)
- ④ 上ナットの締付け(※締付けトルクの規定なし)
- ⑤ 締付け作業の結果を確認し所定の用紙に記載し、工事監理者の承認を得る

ハイベースやベースパックなどの大臣認定露出柱脚工法においても同様な施工法です。先に示した普通ボルトの二重ナットの締付け方法とは手順が異なりますので、注意してください。

出典：(一社)日本鋼構造協会_建築構造用アンカーボルトを用いた露出柱脚設計施工指針・同解説、2011